



●+■⇒★▼● パートナーシップがつくる地域の未来!

エコライフ推進プロジェクトを全国へ

NPO法人いびがわみずみずエコステーション(西濃地域エコライフ推進プロジェクト事務局)

NPO法人いびがわみずみずエコステーションが事務局を担当する、西濃地域エコライフ推進プロジェクトを紹介いたします。

西濃地域2市9町(人口・390,000人)のNPOが主体となり、実行委員会を組織して、平成19年11月からスタートしています。

協力店舗に、マイバッグ・マイ箸を持参するか、レジ袋や割り箸を断った場合、または、過剰包装を辞退した場合に専用のポイントカードに1ポイントを付与しています。

また、実行委員会に加盟する団体や企業が行う、環境行動(クリーン作戦や環境講演会など)に参加をした場合にも1ポイントを付与しています。

100ポイント貯まると、西濃地域での植樹に参加して



植樹風景

いただくか、花の種(10袋)、天然石けん(5個)、箸袋(1個)、竹炭消臭剤(1個)のいずれかとの交換をするシステムを構築しました。

現在は、795店舗、81団体で、運用しています。

本年1月には全国で初めて、お惣菜バイキング・マイパック持参制度の実証実験をフードセナートミダヤとの協働で実施しました。

今後は、マイパック制度の確立とペットボトルキャップの循環システム構築、化粧品ピンのリユース制度の構築をしていきたいと考えています。

こうしたプロジェクトは、NPO・行政・企業・市民の協働なくてはできないことを実感しています。この“西濃モデル”を全国に向け広げていきたいと思っています。



中日新聞の記事

お問い合わせ：0585-22-1732

地域、NGO、企業で取り組む「共生」の道 NPO法人白川郷自然共生フォーラム

地球を取り巻くさまざまな環境問題や課題に取り組むため、地元岐阜県白川村の方々と全国規模の環境NGO・NPO関係者、そして企業(トヨタ自動車)が手を結び発足した我が国では珍しい組織形態のNPO法人です。

それぞれの強みを生かし「Think Globally Act Locally」という精神で、環境教育の普及や啓発、白川郷の文化の維持、白山麓の豊かな自然環境の保全に貢献していくことを目的とし平成16年に設立いたしました。



主たる活動は、環境教育施設「トヨタ白川郷自然学校」の運営です。子供から大人まで多くの方々に自然体験の場を提供しています。また、自然学校の運営を通して地域の環境保全や環境NPOの交流の場づくりなどを行っています。

環境保全活動としては例えば、かつての里山風景を作り出すことがツキノワグマとの共生を実現する一つの手段になりうるのではないかと仮説を立てて、その実証に取り組みははじめました。白川郷の里山風景として不可欠

なカヤ場(合掌家屋の屋根の材料となるスキ野原)の復元などを計画しています。その他、白川郷の古道を復元する作業にも取り組んでいます。

環境NPOの交流の場づくりとしては、環境教育ミーティング中部の事務局の支援や環白山保護利用管理協会の運営協力、東海インタープリターネットワークの運営協力、ひたの未来の森づくりネットワークの事務局支援などを行っています。さらに白川村の子供たちを対象に、自然体験を目的とした「里山遊び塾」を毎年10回ほど開催しています。また昨年度からは、中国、韓国、台湾など近隣諸国の環境保護団体とも連携し、アジア全体で環境保全活動に取り組むための交流も始めました。

白川郷で活動をはじめて5年。歴史ある村の中ではまだまだ新参者です。コツコツと歩みを止めることなく、共生の道を進みたいと考えています。



お問い合わせ：05769-6-1185